

中耳炎



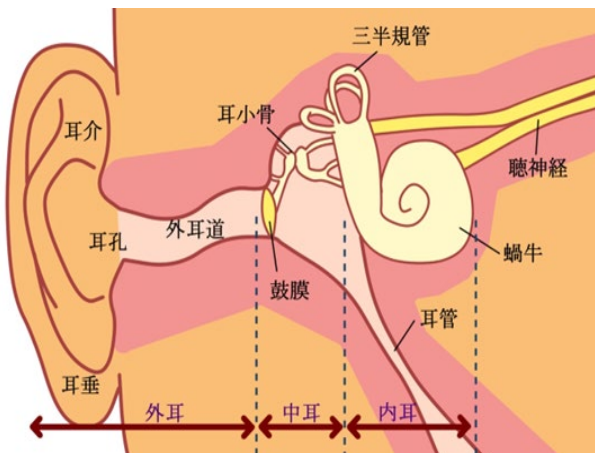
中耳炎とは？

中耳炎と言うと子供の病気というイメージを持たれると思います。実際、子供がかかりやすい病気ですが、大人でもなる病気ですので、誰でも注意が必要です。

中耳炎は中耳と呼ばれる鼓膜の奥にある部分に炎症が起きている状態で、中耳に膿が溜まることもあります。症状として、耳痛、難聴、鼻水、頭痛などが現れます。

急性中耳炎の場合では、風邪などで喉や鼻で感染した細菌やウイルスが、鼻の奥から耳管を通して中耳へと侵入することで、炎症が起こります。

急性中耳炎以外には、炎症が慢性化し鼓膜に穴が残ってしまった慢性中耳炎や、急性中耳炎の後などに中耳に滲出(しんじゅつ)液*が溜まってしまった滲出性中耳炎などがあります。慢性中耳炎や滲出性中耳炎では痛みはないですが、耳が聞こえにくくなります。



耳の構造

*滲出液・・・皮膚が傷ついた時に、傷を治すために傷口から出てくるジュークジュークとした液体。細胞の成長・再生を促す作用があります。

【参考サイト】

大人も発症する中耳炎 5つの種類の特徴や治療法について | NHK健康チャンネル https://www.nhk.or.jp/kenko/atc_1327.html
 耳の病気・耳鼻咽喉科・頭頸部外科が扱う代表的な病気【病名から調べる】:
 一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
http://www.jibika.or.jp/citizens/daihyouteki2/mimi_disease.html

中耳炎の治療

中耳炎の治療は、中耳炎の種類や、症状・所見の程度に応じて薬物療法または手術を行います。

薬物療法

■ 抗菌薬

急性、または慢性中耳炎では、抗菌薬を使用します。ただし、軽症の急性中耳炎では抗菌薬を使用せず、鎮痛薬だけを使用する場合があります。基本的には3~7日間程度服用します。抗菌薬は忘れず最後まで服用することが大切です。慢性中耳炎では、点耳薬の抗菌薬を使うこともあります。

点耳薬使用時のポイント

- めまいを予防するために、使用前に薬液を体温で2~3分温めてください。
- 中耳炎の場合では耳たぶを後ろ上方向に引っ張り揺する、つばを飲み込むと液が中耳へ流れやすいです。
- 薬液を浸透させるため、決められた時間は横になったままでいてください。

■ 鎮痛薬

耳痛へ鎮痛目的として処方されます。耳痛が初めて起きたのが夜間だった場合には、ひとまず市販の鎮痛薬で対処するのも良いです。翌日、耳鼻科を受診してください。

手術

滲出性または、重症の急性中耳炎では鼓膜切開を行います。滲出性中耳炎ではさらに、換気用のチューブを鼓膜に埋め込むこともあります。慢性中耳炎は鼓膜の穴をふさぐ手術をします。

急性中耳炎や滲出性中耳炎の治療において、自己判断で治療を終了してしまうと、再発または、慢性中耳炎へ移行してしまいます。医師の指示をうけて、しっかりと治療することが重要です。